

様式4 - 自己点検・評価の基礎資料

1. 自己点検・評価の基礎資料

(1) 学校法人及び短期大学の沿革

本学園創設者の原田一男は、山形県内での小学校、中学校の教員としての経験から幼児教育の重要性に鑑み、昭和35年3月、学校法人羽陽学園を設立し山形市に鈴川幼稚園を開園した。当時、県内には幼稚園教諭の養成機関がないため無資格者や他県の養成機関からの採用が多かった。当時は幼児の就園率を引き上げるという文部省の幼稚園拡充整備計画が進められており、一層の人手不足が予想された。また、質の高い教員を求める県内の幼児教育現場からの要請も多かった。そこで、昭和40年に県内で初めての幼稚園教諭養成機関として、鈴川幼稚園の隣地に山形幼稚園教諭養成所を開設した。この養成所を母体にして、昭和57年には羽陽学園短期大学を開学し、現在に至っている。

【学校法人羽陽学園沿革】

年 月 日	沿 革
昭和35年3月	原田一男、学校法人羽陽学園設立
昭和35年4月	鈴川幼稚園を開園
昭和46年9月	羽衣学園との合併により大宝幼稚園を開園
昭和46年10月	山形調理師専門学校を開校
昭和48年3月	曹溪学園との合併によりたかだま幼稚園を開園
昭和49年4月	鈴川第二幼稚園を開園
昭和51年4月	原田恒男第二代理事長就任
平成27年4月	幼保連携型認定こども園鈴川第二幼稚園・このみ保育園を開園

【羽陽学園短期大学沿革】

年 月 日	沿 革
昭和40年4月	山形幼稚園教諭養成所を開設（定員80人 一部・二部各40人）
昭和41年2月	校名を山形保育専門学校に改称 保母科（定員50人）を併設
昭和50年4月	現在地（天童市高掬地区）に移転
昭和57年4月	羽陽学園短期大学（幼児教育科 定員100人）を開学 五十嵐明初代学長就任 山形保育専門学校を閉校（昭和58年3月）
昭和58年2月	音楽レッスン室新築
昭和59年4月	障害児保育研究センターを付設
昭和60年4月	谷口恒男第二代学長就任
昭和62年4月	男女共学制導入 図書館・研究室棟新築
昭和63年4月	原田恒男第三代学長就任
平成元年4月	コース制（幼児教育コース・福祉コース）を導入
平成2年4月	専攻科福祉専攻を開設（定員20人） 介護福祉士養成施設に指定される
平成7年10月	開学30周年記念式典開催
平成8年4月	専攻科福祉専攻定員増（定員35人）
平成10年11月	学生ホール棟新築、校舎全面改修工事
平成12年4月	情報処理演習室完成
平成17年9月	専攻科棟・研究室棟新築
平成17年10月	開学40周年記念式典開催
平成21年4月	研 攻一第四代学長就任
平成27年3月	体育館耐震改築工事、本館棟耐震補強工事
平成27年10月	開学50周年記念式典開催
平成28年3月	体育館棟新築（介護実習室、ピアノ練習室、学生ホール、アリーナ）
平成28年4月	渡邊洋一第五代学長就任

(2) 学校法人の概要

- 学校法人が設置するすべての教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数

平成29年5月1日現在（人）

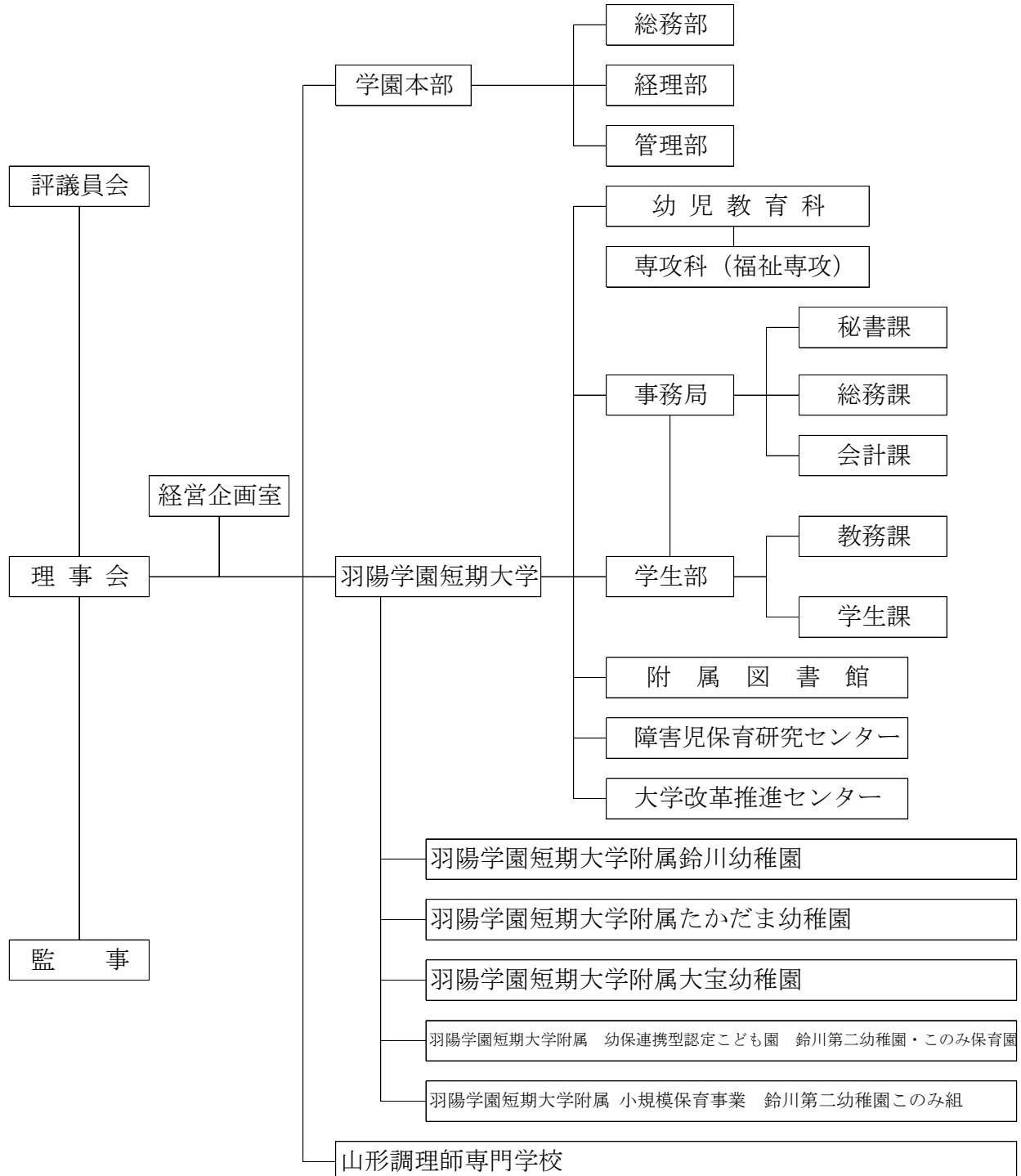
教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
羽陽学園短期大学	山形県天童市大字清池 1559番地	幼児教育科 100	200	209
		専攻科 35	35	28
		福祉専攻		
羽陽学園短期大学附属 鈴川幼稚園	山形県山形市鈴川町 2丁目10番30号	135 220	135 220	114
羽陽学園短期大学附属 たかだま幼稚園	山形県天童市大字清池 1501番地	120 150	120 150	89
羽陽学園短期大学附属 大宝幼稚園	山形県鶴岡市大宝寺町 14番10号	120 150	120 150	99
羽陽学園短期大学附属 幼保連携型認定こども園 鈴川第二幼稚園・このみ 保育園	山形県山形市花楸 2丁目46番1号 2丁目44番1号	220	220	204
		220	220	
羽陽学園短期大学附属 小規模保育事業 鈴川第二幼稚園このみ組	山形県山形市花楸 2丁目46番1号	15	15	12
山形調理師専門学校	山形県山形市六日町 7番42号	1年課程 40	40	15
		2年課程 40	80	40

※幼稚園及び幼保連携型認定こども園は、子ども・子育て支援新制度に移行していますので入学定員及び収容定員の上段は、「利用定員」、下段は「収容定員」を記載しています。

(3) 学校法人・短期大学の組織図

■組織図

平成29年5月1日現在



(4) 立地地域の人口動態・学生の入学動向・地域社会のニーズ

■立地地域の人口動態（短期大学の立地する周辺地域の趨勢）

本学の所在地である山形県天童市は、1831年の織田氏の入部に始まり1879年に東村山郡役所が開庁、1958年に山形県下10番目の市制施行がなされ、2008年（平成20年）には市制施行50周年を迎えた市である。地理的には、山形県のほぼ中央部に位置し、県内有数の名刹として名高い山寺が近いこともあり、温泉街を中心とした観光都市として発展してきたが、近年は郊外型店舗の出店の影響もあり、天童駅前から温泉街に至る中心市街地は緩やかに空洞化の兆しが出始めている。

天童市の総人口は、平成17（2005）年の63,864人をピークにして、それ以降は減少に転じており、平成28年末の住民基本台帳によれば人口は62,162人となっている。

一方、天童市芳賀地区の土地区画整備事業により市街区域拡大を図り、大型店舗の出店や宅地化が進み山形市の北部のベッドタウンとして機能し、山形都市圏の一翼を担い人口増加の基調を維持している。

■学生の入学動向：学生の出身地別人数及び割合

幼児教育科

地 域	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
山形市	59	25.2	54	25.2	52	24.2	56	26.2	62	29.1
東南・西村山	59	25.2	50	23.4	53	24.7	53	24.8	55	25.8
最上・北村山	46	19.7	52	24.3	49	22.8	34	15.9	28	13.1
置賜	33	14.1	29	13.6	26	12.1	30	14.0	24	11.3
庄内	30	12.8	25	11.7	31	14.4	34	15.9	38	17.8
県外	7	3.0	4	1.8	4	1.9	7	3.3	6	2.8
計	234		214		215		214		213	

専攻科福祉専攻

地 域	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
山形市	14	36.8	10	26.3	14	40.0	6	23.1	4	16.0
東南・西村山	8	21	9	23.7	7	20.0	10	38.5	5	20.0
最上・北村山	7	18.4	9	23.7	7	20.0	6	23.1	9	36.0
置賜	1	2.7	6	15.8	5	14.3	2	7.7	2	8.0
庄内	7	18.4	3	7.9	0	0	1	3.8	5	20.0
県外	1	2.7	1	2.6	2	5.8	1	3.8	0	0
計	38		38		35		26		25	

[注]

- 短期大学の実態に即して地域を区分する。
- この事項においては通信による教育を行う学科の学生を除く。
- 第三者評価を受ける前年度の平成28年度を起点に過去5年間。

■地域社会のニーズ

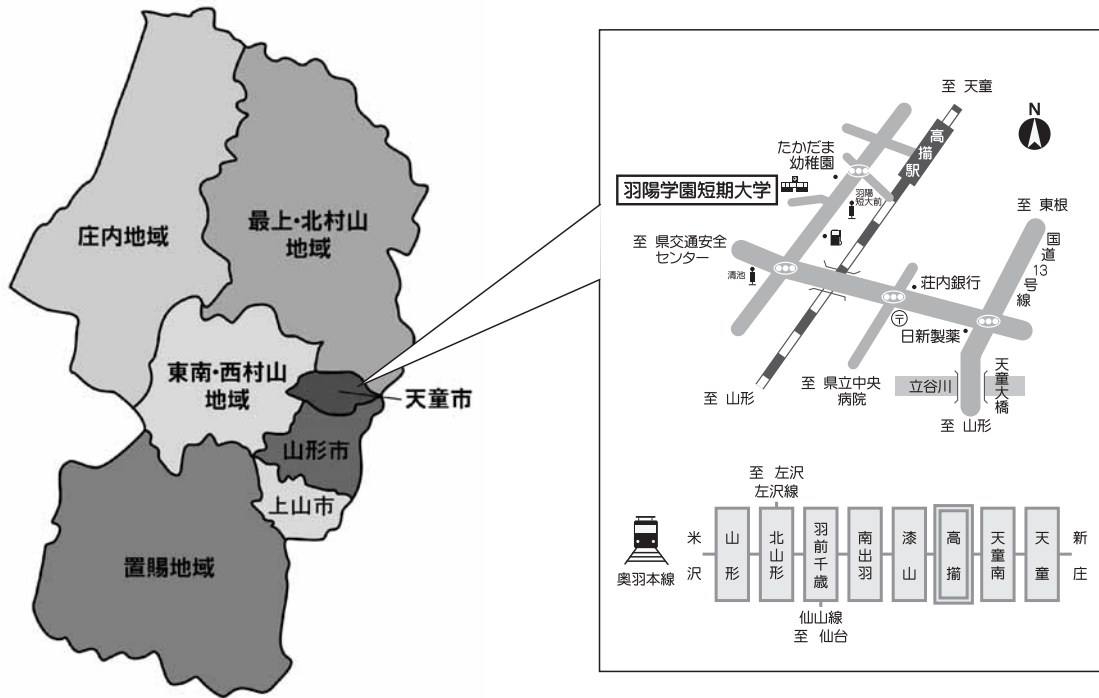
本学は、昭和40年に開校した山形幼稚園教諭養成所と昭和41年に名称を変更した山形保育専門学校を前身として、その伝統を受け継ぎ、多くの優れた幼児教育の指導者や保育士を送り出し社会的にも揺るぎない地歩を築きあげてきた。さらには、平成2年に専攻科福祉専攻を開設し高齢者・障がい者の介護に従事する福祉の専門家を送り出してきたことにより、地元天童市はもとより山形県下の地域社会と連携を図りながら多くのニーズに応えることで、短期大学としての使命を果たしている。

また地域住民の知識および教養の資質向上に寄与すべく公開講座を実施しており、平成28年度は「木という素材をたのしむ～木に触れて簡単なおもちゃをつくってみよう」というテーマで、講師は本学の花田嘉雄准教授、会場は本学講堂及び図工室において行った。さらに、毎年教員免許状更新講習を実施しており、平成28年10月からは通信課程による介護福祉士実務者研修を開講した。平成28年度の受講生はいなかったが、引き続き平成29年度も4月から実施することとしている。一方、学生にあっては、地域イベント「天童夏まつり」への創作神輿での参加や地元放送局主催による「子育て応援団 すこやか2016」への参加、老人ホーム等での演舞披露やサッカー「モンテディオ山形」のホームゲームにおける子育て支援としてのボランティア、山形交響楽団の「親子ふれあいコンサート」に歌とパフォーマンスの出演等、地域住民の参加要請に応じている。

■地域社会の産業の状況

本学の所在地である山形県天童市は、国指定文化財5件（重要文化財4件と史跡1件）と9件の県指定文化財（有形文化財6件、史跡1件、天然記念物2件）を有し、温泉地をかかえる観光都市として発展するとともに、西洋なし（ラ・フランス）、りんご、もも、さくらんぼ等の果樹栽培農家を中心とした農業も盛んである。特にラ・フランスは全国第一位の収穫量を誇っている。産業では、天童市に本社を置く企業も数社あり、主力製品が木工製品、電気機器、清酒、食料品など多種にわたる。特産品としては、経済産業大臣より伝統工芸品の指定を受けた「天童将棋駒」が全国の95%の生産を誇っている。また、天童市では将来の都市像である「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市」の実現を目指し、近年の人口減少に歯止めをかけるべく平成22年度から第六次天童市総合計画を策定している。その一環として最も重要な働く場所の確保や宅地の供給を進めており、特に、高速道路や新幹線、空港等は国道13号線へのアクセスがよく利便性が非常に高いので、新たな工業団地となる荒谷西工業団地や天童インター産業団地を整備して企業誘致を行い、雇用創出を図り人口増加に資すべく努めているところである。

■短期大学所在の市区町村の全体図



(5) 課題等に対する向上・充実の状況

- ① 前回の第三者評価結果における三つの意見の「向上・充実のための課題」で指摘された事項への対応について（領域別評価票における指摘への対応は任意）

改善を要する事項 (向上・充実のための課題)	対 策	成 果
評価領域Ⅱ 教育の内容 ○到達目標や評価基準を明示するなど「シラバス」の内容を点検し、改善に努めることが望まれる。	本学で定期的開催されている専任教員の懇談会において、本課題をテーマに挙げて検討してきたが、これを受け、学生委員会、自己評価委員会が「シラバス」の内容改善のための手引きを作成し、「シラバス」作成の際に活用するようにした。具体的にはテーマ・概要、到達目標、評価方法、教科書・参考文献、授業内容、授業時間外の学習について明示し、受講する学生の教科への理解が深まるように記載内容に検討を加えた。また非常勤講師の担当科目にあっても、年1回一堂に会する非常勤講師との懇談会のおり、その趣旨を説明して同様の手立てを講じている。	このシラバスを使ったオリエンテーションでの科目の説明により、学生が理解しやすくなったものと思われる。また、実際の授業についても、各科目ごとのねらいや内容を学生が捉えやすくなり、学びに良い影響を与えている。さらに、授業に対する教員の意識にも変化が見られ、学習指導の改善への意欲が高まっている。
評価領域Ⅷ 管理運営 ○管理に必要な諸規程は整備されているが、就業規則等の諸規則に関し、より明確な規程整備が望まれる。	本学の管理運営の中核となる学則の変更が必要な場合は、学園理事会・評議員会の審議に付し、整備を行っている。その他の就業規則等については、学園就業規則等の変更に併せ、整合性のあるものに整備している。また、日頃、諸規則等を通覧し、文言の整理や字句の訂正を行い、メンテナンスを行っている。なお、学園本部が制定した規則等が事業所全体にかかる場合は教授会等を通じ全職員に周知している。	直近の諸規則等の整備状況は次のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・羽陽学園短期大学組織規程（一部変更） ・羽陽学園短期大学事務組織規程（一部変更） ・羽陽学園短期大学附属図書館運営委員会規程（一部変更） ・羽陽学園短期大学附属図書館規程（一部変更） ・学校法人羽陽学園公益通報規程（制定） ・学校法人羽陽学園情報公開規程（制定） ・学校法人羽陽学園教職員の育児・介護休業等に関する規則（一部改正） ・羽陽学園短期大学就業規則（一部改正）

		<ul style="list-style-type: none"> ・羽陽学園短期大学大学改革推進センター規程（制定） ・羽陽学園短期大学FD・SD推進委員会規程（制定） ・羽陽学園短期大学学則（一部変更） ・羽陽学園短期大学研究行動規範（制定） ・公的研究費不正防止規程（制定） ・羽陽学園短期大学障害児保育研究センター規程（一部変更）
<p>評価領域Ⅳ 財務</p> <p>○負債が資金を上回っており、支出超過も見られるので、収支バランスの改善も含めた財務計画を立て、財務体質の改善が望まれる。</p>	<p>少子化の急速な進行や本格的な人口減少社会を見据え、5年間の本学の方向性を実現するために取り組む主な重点事業の方向性と推進工程からなる「学園アクションプラン」を策定したところであり、計画的かつ着実に推進し、財務体質の改善に取り組んでいる。</p> <p>具体的には、施設の老朽化修繕や耐震工事など不可欠のものに予算を重点配分するなど、「事業の集中と選択」の方針のもと、できる限り支出が少なくなるように配慮し、私立大学等改革総合支援事業については、採択に向け全学を挙げて取り組むなど補助金収入の増額にも配慮してきた。</p> <p>また、社会人を対象とした介護福祉士実務者研修（通信課程）の開設を行った。さらに、教育訓練給付金制度（専門実践教育訓練）の講座指定を受けるため申請中である。</p>	<p>運営補助金については私立大学等改革総合支援事業に選定され大幅に増額した。また、専攻科福祉専攻の介護福祉士実務者研修を平成28年10月開講したが、受講生は平成29年度に受け入れる予定である。</p> <p>学生募集については、入試企画室が中心になってオープンキャンパスや進路相談会の拡充により、幼児教育科は定員を充足している。専攻科福祉専攻は全国的に介護福祉士養成校の入学定員充足率が5割程度であるが、本学では幼児教育科からの進学者がほとんどであるものの8割となっている。また、同専攻の学生募集については若干の定員割れはあるものの比較的安定した経営状況となっている。</p> <p>さらに、学生募集対策を充実するために、平成29年度から大学改革推進センターを設置した。</p>

② 上記以外で、改善を図った事項について

改善を図った事項	対策	成果
基準Ⅱ－A 教育課程	ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを定めた。	授業の内容が明確なものになり、評価も向上した。また、入学者選抜に関する基準の理解が進んだ。
基準Ⅰ－B 教育の効果	カリキュラム・マップを作成した。	より系統的な指導が可能になった。
基準Ⅱ－A 教育課程	成績評価にGPAを導入した。	導入してからまだ日が浅く、今後活用して成果を出していきたい。
基準Ⅰ－B 教育の効果	実習の自己評価を取り入れた。	実習を核にしたPDCAサイクルの整備に寄与している。

③ 過去7年間に、文部科学省の設置計画履行状況調査において留意事項が付された短期大学は、留意事項およびその履行状況を記述する。

該当なし

(6) 学生データ(学校基本調査のデータを準用)

① 入学定員、入学者数、入学定員充足率、収容定員、在籍者数、収容定員充足率

■ 学科・専攻課程ごとに、第三者評価を受ける平成29年度を含む過去5年間のデータを示す。

学科等の名称	事項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
幼児教育科	入学定員	100	100	100	100	100	
	入学者数	109	107	107	109	100	
	入学定員充足率(%)	109	107	107	109	100	
	収容定員	200	200	200	200	200	
	在籍者数	214	215	214	213	209	
	収容定員充足率(%)	107	108	107	106	104	
専攻科 福祉専攻	入学定員	35	35	35	35	35	
	入学者数	38	35	26	25	28	
	入学定員充足率(%)	109	100	74	71	80	
	収容定員	35	35	35	35	35	
	在籍者数	38	35	26	25	28	
	収容定員充足率(%)	109	100	74	71	80	

[注]

□ 「学科等の名称」欄には5年間に設置された学科等をすべて記載し、設置以前の

年度については、入学定員以下は空欄とする。

- 5年間に学科等の名称変更を行った場合は、最新の名称で記載し、直下の（ ）に旧名称を記載する。
- 通信教育学科の場合、学科等の名称欄に「通信教育」と記載する。募集停止を行った学科等は、募集を停止した年度の入学定員欄に「募集停止」と記載する。
- 新たに学科等を新設した場合は、募集年度の入学定員欄に「新設」と記載する。
- 「入学定員充足率（%）」欄及び「収容定員充足率（%）」欄は、小数点以下第1位を切り捨てて記載する。

※下記②～⑥について、学科・専攻課程ごとに、第三者評価を受ける前年度の平成28年度を起点とした過去5年間のデータを示す。

② 卒業者数（人）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼児教育科	124	101	103	102	102
専攻科福祉専攻	38	38	33	24	25

③ 退学者数（人）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼児教育科	5	5	5	8	2
専攻科福祉専攻	0	0	2	2	0

④ 休学者数（人）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼児教育科	3	1	1	1	2
専攻科福祉専攻	0	0	0	0	0

⑤ 就職者数（人）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼児教育科	83	67	77	73	72
専攻科福祉専攻	37	38	32	24	25

⑥ 進学者数（人）

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
幼児教育科	38	34	25	26	28
専攻科福祉専攻	0	0	0	0	0

(7) 短期大学設置基準を上回っている状況・短期大学の概要

① 教員組織の概要(人)

平成 29 年 5 月 1 日現在

学科等名	専任教員数					設置基準 で定める 教員数 [イ]	短期大学全体の 入学定員に応じ て定める専任教員数 [ロ]	設置基準 で定める 教授数	助 手	非 常 勤 教 員	備 考
	教授	准教授	講師	助教	計						
幼児教育科	7	4	5	0	16	8		3	0	23	教育学・ 保育学関係
専攻科福祉専攻	(1)	(1)	(2)		(4)	(3)*				11	
(小計)	7	4	5	0	16	8		3	0	34	
[その他の組織等]											
短期大学全体 の入学定員に 応じて定める 専任教員数 [ロ]							3	1			
(合計)	7	4	5	0	16	11		4	0	34	

* 社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則で定める教員数

[注]

1. 上表の「設置基準で定める教員数 [イ]」には、短期大学設置基準第 22 条別表第 1 のイに定める学科の種類に応じて定める教員数（昼間又は夜間において授業を行う学科が通信教育をあわせ行う場合には、短期大学通信教育設置基準第 9 条第 2 項に定める教員数を含む。）を、また、通信教育学科のみを置く短期大学の場合は短期大学通信教育設置基準第 9 条第 1 項別表第 1 に定める教員数を、学科ごとに記入し、その小計を①に記入する。
2. 上表の「短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数 [ロ]」②には、短期大学設置基準第 22 条別表第 1 のロに定める短期大学全体の入学定員に応じて定める教員数を記入する。
3. 上表の「設置基準で定める教授数」には、短期大学設置基準第 22 条別表第 1 のイの備考 1 に定める教授数（通信教育学科のみを置く短期大学の場合は、短期大学通信教育設置基準第 9 条第 1 項別表第 1 備考 2 に定める教授数）を学科ごとに記入し、その小計を③に記入する。さらに、[ロ] の専任教員数に対する教授数を④に記入する。
4. 上表の「[その他の組織等]」には、設置する学科に所属しない教員（例えば、一般教育科目等を担当する教員や募集停止を行った学科所属の教員等）数を記入するとともに、[その他の組織等] 欄に組織名等（募集停止の場合はその年度も含む。）を記入する。該当する教員がない場合、この欄には斜線を引く。
5. 上表の「助手」とは、助手として発令されている教職員をいう。
6. 備考欄には、当該学科の種類（短期大学設置基準第 22 条別表第 1 のイにいう「学科の属する分野の区分」）を必ず記載する。

② 教員以外の職員の概要（人）

平成29年5月1日現在

	専任	兼任	計
事務職員	8	0	8
技術職員	0	0	0
図書館・学習資源センター等の 専門事務職員	2	0	2
その他の職員	0	1	1
計	10	1	11

[注]

- 「その他の職員」とは、守衛、自動車運転手、作業員等の技能労務職員等を指す。
- 契約職員、派遣職員等は「兼任」に分類する。

③ 校地等（㎡）

平成29年5月1日現在

校地等	区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する他の学校等 の専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡)	在籍学生一人 当たりの面積 (㎡)	備考 (共用の 状況等)
	校舎敷地	12,783	0	0	12,783	2,350	[イ] 62.8	その他は 鶴岡市に ある短大 実習生用 の宿泊施 設の土地
	運動場用地	2,097	0	0	2,097			
	小計	14,880	0	0	[ロ]14,880			
	その他	140	0	0	140			
	合計	15,020	0	0	15,020			

[注]

- 基準面積（㎡）＝短期大学設置基準上必要な面積
- [イ]在籍学生一人当たりの面積＝[ロ]÷当該短期大学の在籍学生数（他の学校等と共用している場合、当該学校等の在籍学生数を加えた総在籍学生数）

④ 校舎（㎡）

平成29年5月1日現在

区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する他の 学校等の 専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡)	備考 (共有の状況等)
校舎	7,442	0	0	7,442	[注] 2,600	0

[注]

- 基準面積（㎡）＝短期大学設置基準上必要な面積

⑤ 教室等（室）

平成29年5月1日現在

講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習室	語学学習施設
8	33	5	1	0

⑥ 専任教員研究室（室） 平成29年5月1日現在

専任教員研究室
20

⑦ 図書・設備

平成29年5月1日現在

学科・専攻課程	図書 [うち外国書] (冊)	学術雑誌		視聴覚 資料 (点)	機械・器具 (点)	標本 (点)
		[うち外国書] (種)	電子ジャーナル [うち外国書]			
幼児教育科	58,998 [2,372]	39 [3]	—	1,212	0	0
専攻科福祉専攻	4,051 [59]	13	—		0	0
計	63,049 [2,431]	52 [3]	—	1,212	0	0

図書館	面積 (㎡)	閲覧席数	収納可能冊数
	705	50	58,000
体育館	面積 (㎡)	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	609	テニスコート (1面)	

(8) 短期大学の情報の公表について

① 教育情報の公表について

平成29年5月1日現在

	事 項	公表方法等
1	大学の教育研究上の目的に関する事	<ul style="list-style-type: none"> 本学公式ホームページ[学科の教育及び研究上の目的] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/mokuteki.html 学生便覧 羽陽学園短期大学要覧
2	教育研究上の基本組織に関する事	<ul style="list-style-type: none"> 本学公式ホームページ[情報公開] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/ 学生便覧
3	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事	<ul style="list-style-type: none"> 本学公式ホームページ[教員数等について] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/kyouinsu.html 本学公式ホームページ[専任教員紹介] http://www.uyo.ac.jp/annai_dai/kyouiku/kyouinsyoukai.html

4	<p>入学者に関する受け入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[アドミッション・ポリシー] http://www.uyo.ac.jp/nyuushi/ • 本学公式ホームページ[入学定員、入学者数等] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/gakuseisu.html • 本学公式ホームページ[学生への進路支援について] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/syuusyokushien.html • 学生便覧 • 羽陽学園短期大学要覧 • 羽陽学園短期大学概要
5	<p>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[授業科目、開講時期等] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/jyukamoku.html • 本学公式ホームページ[シラバス（授業内容）] http://www.uyo.ac.jp/annai_dai/kyouiku/syllabus.pdf • 学生便覧 • 羽陽学園短期大学要覧 • 羽陽学園短期大学概要 • シラバス（講義概要）
6	<p>学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[学修の評価、卒業（修了）の認定基準・学位授与数] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/nintei.html • 学生便覧
7	<p>校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[校地・校舎等の施設、学生の教育環境] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/kouchi.html • 学生便覧 • 羽陽学園短期大学要覧
8	<p>授業料、入学料その他大学が徴収する費用に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[授業料、入学料その他大学が徴収する費用] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/syonoukin.html • 学生便覧 • 学生募集要項
9	<p>大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本学公式ホームページ[学生への修学や健康等への支援について] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/gakuseseshien.html • 本学公式ホームページ[学生への進路支援] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/syuusyokushien.html • 学生便覧

② 学校法人の財務情報の公開について

事 項	公開方法等
財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・本学公式ホームページ[学校法人羽陽学園財務情報] http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/zaimu.html

[注]

- 上記①・②ともに、ウェブサイトで公表している場合はURLを記載する。

(9) 各学科・専攻課程ごとの学習成果について（平成28年度）

■ 学習成果をどのように規定しているか。

学生に必携させている「学生便覧」及び「シラバス」の中で、本学の建学の精神、本学の目的、本学の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、そして学習成果について示している。

本学の教育により学生が得るものとして期待される学習成果は、機関レベル（短期大学ごと）、教育課程レベル（学科・専攻ごと）、科目レベル（各教員・授業科目ごと）という各レベルにおいて、以下のようなものである。なお、本学は単科の短期大学であり、幼児教育科と専攻科福祉専攻において学習成果を同じように規定している。

<機関レベル>

- ・専門職としての自覚および技術
- ・専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる能力

<教育課程レベル・科目レベル>

教育課程レベル	科目レベル
・コミュニケーション能力	(1) 人間や人間の生活、社会についての知識・理解 (2) 人間への信頼 (3) 伝え合う手段を見つけることができる。 (4) 対話する能力
・自分で考え、実践できる能力	(1) 現状をしっかりとらえることができる。 (2) 実践について理解したり、分析したりすることができる。 (3) 学際的な視点で考えることができる。 (4) 実践における様々な問題を解決することができる。 (5) 自分の価値観に基づいて判断し、実践することができる。
・フィードバック能力	(1) 自分の実践について検証し、課題を見つけることができる。 (2) 見つけた課題について修正や改善をすることができる。 (3) 実践中に、瞬時に判断し、修正や改善をすることができる。
・学び続け、成長し続ける能力	(1) 自分の実践について振り返り、より良い実践を目指して、主体的に学ぶことができる。 (2) 実践の経験を再構成して、専門的知識・理解・技術へと高めることができる。

■ どのように学習成果の向上・充実を図っているか。

教育課程レベルの学習成果として、コミュニケーション能力、自分で考え、実践できる能力、フィードバック能力、学び続け、成長し続ける能力という4つの具体的な能力を設定し、それらの能力を培うことを目指している。

この4つの能力の下位カテゴリーとして設定したものが、科目レベルの学習成果であり、各科目で取り上げるものをカリキュラム・マップに示している。各科目においては、科目の内容や特性に根差したさらに具体的な能力を設定して授業を行うように考えている。このことにより、たとえば、コミュニケーション能力といっても細部については科目により捉え方が異なるが、学生は、それぞれの科目に即したコミュニケーションについて学ぶことにより、共通する核心の部分と科目独自の部分に気づき、幅広く深く理解することができる。

また、学習成果の量的・質的データの測定及び査定については、複数の仕組みや手法を用いて行っているが、教員が実施するもの、学生自身が実施するもの、卒業生の職場に依頼するもの、というように偏らずに幅広い視点で行われるようにして、十分な活用を図っている。

科目レベルの学習成果は、理論から実践へという大きな流れになっているが、この学習成果を達成するための工夫として、実習を核にしたP D C Aサイクルを有する指導を行っている。授業で学んだことを実習において実践し、うまくいかなかったことについてまた授業を通して学び直し、次の実習において実践してみる。このようなP D C Aサイクルを活かして、より一層の向上・充実を図っている。

(10) オフキャンパス、遠隔教育、通信教育等のその他の教育プログラム(平成28年度)

■ オフキャンパス

該当なし

■ 遠隔教育

該当なし

■ 通信教育

社会福祉士及び介護福祉士法の規程に基づいた介護福祉士実務者学校として指定を受けるために、介護福祉士実務者学校指定申請書を文部科学大臣及び東北厚生局長に平成28年6月23日付けで申請し、同年9月30日付けで介護福祉士実務者学校(通信課程)の指定を受けた。同年10月以降の入学者の養成から適用された。

(11) 公的資金の適正管理の状況(平成28年度)

■ 公的資金の適正管理の方針及び実施状況

平成28年度に「羽陽学園短期大学研究行動規範」及び「公的研究費不正防止規程」を制定した。

(12) 理事会・評議員会の開催状況(平成26年度～平成28年度)

理事会の開催状況

区分	開催日現在の		開催年月日	出席者数等			監事の出席状況
	定員	現員(a)	開催時間	出席理事数(b)	実出席率(b/a)	意思表示出席者数	
理事会	8人	8人	平成26年4月17日 15:30～16:30	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成26年5月15日 16:30～16:50	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成26年5月19日 15:30～16:30	7人	87.5%	0人	2/2
		8人	平成26年9月1日 14:30～17:00	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成26年10月15日 11:00～11:50	7人	87.5%	0人	2/2
		8人	平成26年12月13日 15:00～16:10	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成27年3月27日 15:00～16:30	7人	87.5%	0人	2/2
		8人	平成27年4月16日 16:30～17:10	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成27年5月21日 16:30～17:10	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成27年12月12日 15:00～16:15	6人	75.0%	0人	1/2
		8人	平成28年3月23日 15:00～16:10	8人	100%	0人	1/2
		7人	平成28年4月15日 16:30～17:15	7人	100%	0人	1/2
		7人	平成28年5月18日 15:30～16:35	7人	100%	0人	1/2
		8人	平成28年12月10日 15:00～16:30	7人	87.5%	1人	2/2
		8人	平成29年3月22日 15:00～16:15	8人	100%	0人	2/2

[注]

- 平成26年度から平成28年度までに開催した全ての理事会及び評議員会について、理事会・評議員会ごとに記入・作成する。(評議員会については、上表の「理事会」、「出席理事数」を読み替えて作成する。)
- 「定員」及び「現員(a)」欄には、理事会開催当日の人数を記入する。
- 「意思表示出席者数」欄には、寄付行為に「書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす」等が規程されている場合、その人数を外数で記入する。
- 「実出席率(b/a)」欄には、百分率で小数点以下第1位まで記入する(小数点以下第2位を四捨五入)。
- 「監事の出席状況」欄には、「/」の右側に監事数(現員)を記入し、左側に当該理事会及び評議員会に出席した監事数を記入する。

評議員会の開催状況

区分	開催日現在の状況		開催年月日	出席者数等			監事の出席状況
	定員	現員(a)	開催時間	出席評議員数(b)	実出席率(b/a)	意思表示出席者数	
評議員会	20人	20人	平成26年5月19日 14:00～15:00	17人	85.0%	0人	2/2
		20人	平成26年12月13日 13:30～14:50	17人	85.0%	0人	2/2
		20人	平成27年3月27日 13:30～14:50	17人	85.0%	0人	2/2
		20人	平成27年5月21日 14:00～15:00	17人	85.0%	0人	2/2
		20人	平成27年12月12日 13:30～14:50	16人	80.0%	0人	1/2
		20人	平成28年3月23日 13:30～14:25	17人	85.0%	0人	1/2
		20人	平成28年5月18日 14:00～15:00	18人	90.0%	0人	1/2
		19人	平成28年12月10日 13:00～14:30	17人	85.0%	2人	2/2
		19人	平成29年3月22日 13:30～14:25	17人	85.0%	2人	2/2

(13) その他
特になし

2. 自己点検・評価の組織と活動

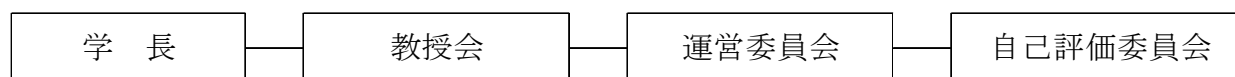
■ 自己点検・評価委員会（担当者、構成員）

羽陽学園短期大学自己評価委員会規程に基づき委員会が設置され、同規定第3条に従って、学長、教授会構成員から選出された者5名、事務局長が委員会の委員となっている。全教員が自己点検・評価活動に参画する趣旨から、報告書作成にあたっては全員に役割を分担して作業を進めるようにしている。

羽陽学園短期大学自己評価委員会規程に基づき、評価委員会の構成は、下記の通りとなっている。

委員会	役 職	氏 名
議 長	学長	渡邊 洋一
委 員	学科長・ALO	柏倉 弘和
委 員	教授	大木みどり
委 員	学生部長・教授	松田 知明
委 員	図書館長・准教授	太田 裕子
委 員	准教授	花田 嘉雄
委 員	事務局長	菅原 和敏

■ 自己点検・評価の組織図（規程は提出資料）



■ 組織が機能していることの記述（根拠を基に）

自己点検・評価のための規程として、自己評価委員会規程を定めている。それに基づいて、学長、学科長、事務局長を含む7名のメンバーで自己評価委員会を組織し、自己点検・評価に関する事項を検討することになっている。検討内容として、①自己評価の項目を設定し、自己評価を実施すること ②自己評価の実施結果をまとめること ③自己評価の結果の活用を図ること ④その他必要な事項を検討すること、を挙げている。

＜提出資料9 自己評価委員会規程（諸規程）＞

自己点検・評価の実施にあたっては、自己評価委員会で報告書の作成方針、作業日程、役割分担を決め、基準ごとに、チーフとサブを決めた。そのチーフとサブは、自己評価委員が務めるようにした。

自己点検・評価に関わって、短大全体で取り組む必要がある内容については、自己評価委員会が原案を作成して、運営委員会、教授会に直接提案し協議の上、進めていくように、申し合わせを行っている。＜備付資料58 教授会議事録＞

そのように進めていったこととして、機関レベル、教育課程レベル、科目レベルという各レベルごとの学習成果を定めたことと、成績評価を4段階から5段階に改定し、GPAを導入したことがあげられる。また、シラバスについても形式を一部改定し、授業時間

外の学習という項目を加えた。さらに、学習成果の自己評価シートと実習の自己評価シートを作成している。＜備付資料 58 教授会議事録＞

平成 28 年 12 月からは、自己評価委員会の開催回数を大幅に増やし、委員全員で提出された自己点検・評価報告書の原稿の点検や修正を行った。

■ 自己点検・評価報告書完成までの活動記録（自己点検・評価を行った平成 28 年度を中心に）

[自己評価委員会の記録]

【平成27年度】

年 月	回	概要
平成27年	5月～7月 第1回 ～第4回	今後の計画について、担当について、記述の内容や仕方について
	9月～11月 第5回 ～第8回	学習成果について、自己評価委員会の規程について（必要な場合は、自己評価委員会で原案を作成して会議に諮れるという申し合わせ）、成績評価（5段階評価）について、GPAの導入について
平成28年	1月～3月 第9回 ～第11回	シラバスの改定について、学則の変更について、履修カルテと自己評価シートについて

【平成28年度】

年月日	回	概要
平成28年	4月21日 第1回	今後の計画について、今年度の担当について
	5月20日 第2回	自己点検・評価の仕方とその記述について、平成26年度自己点検・評価報告書において確認、修正・改善が必要な点について
	6月17日 第3回	学習成果に関わる自己点検・評価について
	7月22日 第4回	平成27年度自己点検・評価報告書と平成28年度自己点検・評価報告書の作成について、実習を核にしたPDCAサイクルについて
	9月29日 第5回	提出資料及び備付資料について、第3回自己評価全体会について
	10月14日 第6回	シラバスの改善について、教育研究業績書について
	11月17日 第7回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検について
	12月2日 第8回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について（1）
	12月9日 第9回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について（2）
	12月16日 第10回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について（3）
	12月22日 第11回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について（4）
平成29年	1月5日 第12回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について（5）

1月13日	第13回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(6)
1月20日	第14回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(7)
1月26日	第15回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(8)
2月3日	第16回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(9)
2月10日	第17回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(10)
2月14日	第18回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(11)
2月16日	第19回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(12)
2月17日	第20回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(13)
2月23日	第21回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(14)
3月7日	第22回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(15)
3月9日	第23回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(16)
3月10日	第24回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(17)
3月16日	第25回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(18)
3月17日	第26回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(19)
3月23日	第27回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(20)
3月28日	第28回	平成28年度自己点検・評価報告書の点検と修正について(21)

[自己評価全体会の記録]

【平成28年度】

年月日		回	概要
平成28年	7月28日	第1回	平成27年度自己点検・評価報告書の自己点検・評価の仕方と記述についての確認
	9月6日	第2回	A L O対象説明会の報告、諸規程の見直しについて
平成29年	2月14日	第3回	平成28年度自己点検・評価報告書の作成について

[自己評価委員会の記録]

【平成29年度】

年月日		回	概要
平成29年	4月14日	第1回	訪問調査の日程について、平成28年度自己点検・評価報告書の原稿について
	4月25日	第2回	平成28年度自己点検・評価報告書初校の点検について
	5月12日	第3回	平成28年度自己点検・評価報告書初校の修正について
	6月9日	第4回	平成28年度自己点検・評価報告書再校の校正について
	6月15日	第5回	平成28年度自己点検・評価報告書の最終点検について

様式5 - 提出資料・備付資料一覧

3. 提出資料・備付資料一覧

< 提出資料一覧表 >

報告書作成マニュアル記載の提出資料	資料番号・資料名
基準Ⅰ：建学の精神と教育の効果	
A 建学の精神	
建学の精神・教育理念についての印刷物	1 ホームページ 建学の精神 http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/kengakuseishin.html 2 羽陽学園短期大学概要[平成28年度] 3 羽陽学園短期大学要覧[平成29年度入学者用] 4 羽陽学園短期大学学則 5 学生便覧[平成28年度] 6 ホームページ 学科の名称及び教育研究上の目的 http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/mokuteki.html 7 シラバス[平成28年度]
B 教育の効果	
学則	4 羽陽学園短期大学学則
教育目的・目標についての印刷物	6 ホームページ 学科の名称及び教育研究上の目的 http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/mokuteki.html 5 学生便覧[平成28年度] 3 羽陽学園短期大学要覧[平成29年度入学者用]
学生が獲得すべき学習成果についての印刷物	5 学生便覧[平成28年度] 7 シラバス[平成28年度] 8 ホームページ 学習成果について http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/gakusyuuuseiika.html
C 自己点検・評価	
自己点検・評価を実施するための規程	9 羽陽学園短期大学自己評価委員会規程（諸規程） 7 シラバス[平成28年度]
基準Ⅱ：教育課程と学生支援	
A 教育課程	
学位授与の方針に関する印刷物	4 羽陽学園短期大学学則 5 学生便覧[平成28年度] 10 ホームページ 学修の評価、卒業（修了）の認定基準・学位授与数 http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/nintei.html 11 ホームページ 羽陽学園短期大学教育方針（3つのポリシー） http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/kihonhoushin.html 3 羽陽学園短期大学要覧[平成29年度入学者用] 2 羽陽学園短期大学概要[平成28年度]

羽陽学園短期大学

教育課程編成・実施の方針に関する印刷物	11 ホームページ 羽陽学園短期大学教育方針（3つのポリシー） http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/kihonhoushin.html 5 学生便覧[平成28年度] 7 シラバス[平成28年度]
入学者受け入れ方針に関する印刷物	12 ホームページ 本学の求める学生像 http://www.uyo.ac.jp/nyuushi/index.html 3 羽陽学園短期大学要覧[平成29年度入学者用]
カリキュラムに対応した授業科目担当者一覧	13 授業科目担当者一覧表[平成28年度] 5 学生便覧[平成28年度] 2 羽陽学園短期大学概要[平成28年度] 14 時間割表[平成28年度用]
シラバス	7 シラバス[平成28年度]
B 学生支援	
学生便覧等、学習支援のために配付している印刷物	5 学生便覧[平成28年度] 7 シラバス[平成28年度]
短期大学案内（2年分）	3 羽陽学園短期大学要覧[平成29年度入学者用] 15 羽陽学園短期大学要覧[平成28年度入学者用] 16 入試データブック[平成29年度入学者用] 17 入試データブック[平成28年度入学者用]
募集要項・入学願書（2年分）	18 学生募集要項（入学願書を含む）[平成28年度] 19 学生募集要項（入学願書を含む）[平成29年度]
基準Ⅲ：教育資源と財的資源	
D 財的資源	
「活動区分資金収支計算書（学校法人全体）」[書式1]、「事業活動収支計算書の概要」[書式2]、「貸借対照表の概要（学校法人全体）」[書式3]、「財務状況調べ」[書式4]、「資金収支計算書・消費収支計算書の概要」[書式5]	20 活動区分資金収支計算書（学校法人全体） 21 事業活動収支計算書の概要 22 貸借対照表の概要（学校法人全体） 23 財務状況調べ 24 資金収支計算書・消費収支計算書の概要
資金収支計算書・資金収支内訳表（過去3年間）	25 資金収支計算書・資金収支内訳表 [平成26年度～平成28年度]
活動区分資金収支計算書（過去2年間）	26 活動区分資金収支計算書[平成27年度～平成28年度]
事業活動収支計算書・事業活動収支内訳表（過去2年間）	27 事業活動収支計算書・事業活動収支内訳表 [平成27年度～平成28年度]
貸借対照表（過去3年間）	28 貸借対照表[平成26年度～平成28年度]
消費収支計算書・消費収支内訳表	29 消費収支計算書・消費収支内訳表[平成26年度]
中・長期の財務計画	30 学校法人羽陽学園第1次アクションプラン
事業報告書（過去1年分）	31 事業報告書[平成28年度]
事業計画書/予算書	32 事業計画書[平成29年度] 33 予算書[平成29年度]
基準Ⅳ：リーダーシップとガバナンス	
A 理事長のリーダーシップ	
寄附行為	34 学校法人羽陽学園寄附行為

< 備付資料一覧表 >

報告書作成マニュアル記載の備付資料	資料番号・資料名
基準Ⅰ：建学の精神と教育の効果	
A 建学の精神	
創立記念、周年誌等	1 羽陽学園短期大学開学50周年記念誌
B 教育の効果	
関係資料	2 学習成果の自己評価 3 教授会議事録[平成29年2月] 4 FD活動報告書 5 教授会議事録[平成29年1月] 6 実習ノート[平成28年度入学者用]
C 自己点検・評価	
過去3年間（平成26年度～平成28年度）に行った自己点検・評価に係る報告書等	2 学習成果の自己評価 6 実習ノート[平成28年度入学者用] 7 FD・SD推進委員会規程（諸規程） 8 平成26年度自己点検・評価報告書 9 平成27年度自己点検・評価報告書 10 平成28年度自己点検・評価報告書 4 FD活動報告書
第三者評価以外の外部評価についての印刷物	該当なし
基準Ⅱ：教育課程と学生支援	
A 教育課程	
単位認定の状況表	単位認定の状況表（自己点検・評価報告書の中に掲載）
学習成果を表す量的・質的データに関する印刷物	11 GPA一覧表 12 カリキュラム・マップ 13 卒業生の職場アンケート 2 学習成果の自己評価 6 実習ノート[平成28年度入学者用] 14 免許・資格取得率 15 学習成果FDアンケート（FD活動報告書に掲載）
B 学生支援	
学生支援の満足度についての調査結果	16 卒業時満足度調査
就職先からの卒業生に対する評価結果	13 卒業生の職場アンケート
卒業生アンケートの調査結果	該当なし

入学志願者に対する入学までの情報提供のための印刷物等	17 入学手続について 18 入学関係諸連絡 19 羽陽学園短期大学広報誌UYO 20 プレキャンパスのご案内
入学手続者に対する入学までの学習支援のための印刷物等	21 プレキャンパス資料 22 入学前教育資料
学生の履修指導（ガイダンス、オリエンテーション）等に関する資料	23 学生便覧[平成28年度] 24 オリエンテーション資料
学生支援のための学生の個人情報記録する様式	25 学生調査書
進路一覧表等の実績についての印刷物 （過去3年間）	26 同窓会会員名簿[平成27年3月卒業] 27 同窓会会員名簿[平成28年3月卒業] 28 同窓会会員名簿[平成29年3月卒業]
G P A等の成績分布	11 G P A一覧表
学生による授業評価票及びその評価結果	29 授業評価アンケート 30 授業評価結果
社会人受け入れについての印刷物	31 学生募集要項[平成29年度] 7 科目等履修生規程（諸規程）
海外留学希望者に向けた印刷物等	該当なし
F D活動の記録	4 FD活動報告書 32 FDネットワークつばさ年次報告書
S D活動の記録	4 FD活動報告書
[報告書作成マニュアル指定以外の備付資料]	33 公開講座案内
基準Ⅲ：教育資源と財的資源	
A 人的資源	
専任教員の個人調書 ■ 教員個人調書（平成29年5月1日現在で作成） [書式1]、及び過去5年間（平成24年度～平成28年度）の教育研究業績書	34 教員個人調書 35 教育研究業績書[平成24年度～平成28年度]
非常勤教員一覧表[書式3]	36 非常勤教員一覧表
教員の研究活動について公開している印刷物等 ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	37 ホームページ 専任教員の紹介 http://www.uyo.ac.jp/annai_dai/kyouiku/kyouinsyoukai.html 38 ホームページ 羽陽学園短期大学リポジトリ https://uyo.repo.nii.ac.jp/ 39 羽陽学園短期大学紀要[平成26年度] 40 羽陽学園短期大学紀要[平成27年度] 41 羽陽学園短期大学紀要[平成28年度]

専任教員の年齢構成表 ■ 第三者評価を受ける年度 (平成29年5月1日現在)	42 専任教員名簿 43 専任教員の年齢構成表
科学研究費補助金等、外部研究資金の獲得状況一覧表 ■ 過去3年間 (平成26年度～平成28年度)	44 科学研究費補助金等、外部研究資金の獲得状況一覧表
研究紀要・論文集 ■ 過去3年間 (平成26年度～平成28年度)	39 羽陽学園短期大学紀要[平成26年度] 40 羽陽学園短期大学紀要[平成27年度] 41 羽陽学園短期大学紀要[平成28年度]
教員以外の専任職員の一覧表 (氏名、職名) ■ 第三者評価を受ける年度 (平成29年5月1日現在)	45 専任職員の一覧表
報告書作成マニュアル指定以外の備付資料	7 教員選考基準 (諸規程) 7 教員選考規程 (諸規程) 7 研究行動規範 (諸規程) 7 公的研究費不正防止規程 (諸規程) 7 FD・SD推進委員会規程 (諸規程) 4 FD活動報告書 7 大学改革推進センター規程 (諸規程) 7 組織規程 (諸規程) 7 事務組織規程 (諸規程) 7 文書処理規程 (諸規程) 7 文書保存規程 (諸規程) 7 コンピュータ管理規程 (諸規程) 7 危機管理規程 (諸規程) 7 防火対策規程 (諸規程) 46 羽陽学園短期大学危機管理基本マニュアル 47 羽陽学園短期大学就業規則 7 学長選考規程 (諸規程) 47 旅費規程 (短大就業規則) 48 教職員退職金支給規程 (法人諸規程)
B 物的資源	
校地、校舎に関する図面 ■ 全体図、校舎等の位置を示す配置図、用途 (室名) を示した各階の図面、校地間の距離、校地間の交通手段等	49 校地、校舎に関する図面

図書館、学習資源センターの概要 平面図、蔵書数、学術雑誌数、AV資料数、 座席数等	50 図書館の概要
報告書作成マニュアル指定以外の備付資料	48 経理規程（法人諸規程） 48 固定資産管理規程（法人諸規程） 48 物品管理規程（法人諸規程） 7 危機管理規程（諸規程） 46 羽陽学園短期大学危機管理基本マニュアル 7 コンピュータ管理規程（諸規程）
C 技術的資源	
学内LANの敷設状況	51 学内LANの敷設状況
マルチメディア教室、コンピュータ教室等の 配置図	23 情報処理演習室の配置図 (学生便覧[平成28年度])
D 財的資源	
寄付金・学校債の募集についての印刷物等	該当なし
財産目録及び計算書類 ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	52 財産目録及び計算書類 [平成26年度～平成28年度]
報告書作成マニュアル指定以外の備付資料	48 資産の管理及び運用に関する規程 (法人諸規程)
基準IV：リーダーシップとガバナンス	
A 理事長のリーダーシップ	
理事長の履歴書 ■ 第三者評価を受ける年度（平成29年5月1日）	53 理事長の履歴書
学校法人実態調査表（写し） ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	54 学校法人実態調査表（写し） [平成26年度～平成28年度]
理事会議事録 ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	55 羽陽学園理事会議事録 [平成26年度～平成28年度]
諸規程集 組織・総務関係 組織規程、事務分掌規程、稟議規程、文書取扱 （授受、保管）規程、公印取扱規程、個人情報 保護に関する規程、情報公開に関する規程、 公益通報に関する規程、情報セキュリティポ リシー、防災管理規程、自己点検・評価に関 する規程、SDに関する規程、図書館規程、 各種委員会規程 人事・給与関係 就業規則、教職員任免規程、定年規程、役員	諸規程集 組織・総務関係 7【諸規程】 組織規程、事務組織規程、文書処理規程、文書 保存規程、危機管理規程、防火対策規程、附属 図書館規程、運営委員会規程、専攻科委員会規 程、学生委員会規程、自己評価委員会規程、実 習委員会規程、就職指導委員会規程、健康委員 会規程、附属図書館運営委員会規程、附属幼稚 園運営委員会規程、附属幼稚園連携委員会規 程、学生経済支援委員会規程、危機管理委員会 規程、FD・SD推進委員会規程

<p>報酬規程、教職員給与規程、役員退職金支給規程、教職員退職金支給規程、旅費規程、育児・介護休職規程、懲罰規定、教員選考基準</p> <p>財務関係 会計・経理規程、固定資産管理規程、物品管理規程、資産運用に関する規程、監査基準、研究費（研究旅費を含む）等の支給規程、消耗品及び貯蔵品管理に関する規程</p> <p>教学関係 学則、学長候補者選考規程、学部（学科）長候補者選考規程、教員選考規程、教授会規程、入学者選抜規程、奨学金給与・貸与規程、研究倫理規程、ハラスメント防止規程、紀要投稿規程、学位規程、研究活動不正行為の取扱規程、公的研究費補助金取扱に関する規程、公的研究費補助金の不正取扱防止規程、教員の研究活動に関する規程、FDに関する規程</p>	<p>48【法人諸規程】 公印取扱規程、個人情報保護規程、特定個人情報（マイナンバー）取扱規程、情報公開規程、公益通報規程、ソーシャルメディア利用管理規程</p> <p>人事・給与関係 7【諸規程】 就業規則、旅費規程、教員選考基準</p> <p>48【法人関係諸規程】（法人諸規程） 就業に関する規則、役員等報酬ならびに退職金規程、退職手当支給規則、育児・介護休業等に関する規程</p> <p>財務関係 48【法人諸規程】 経理規程、固定資産及び物品管理規程、資産の管理及び運用に関する規程</p> <p>教学関係 7【諸規程】 学則、学長選考規程、教員選考規程、教授会規程、入学試験実施細則、紀要投稿内規、学位規程、研究行動規範、公的研究費不正防止規程、FD・SD推進委員会規程</p> <p>48【法人諸規程】 奨学金貸与規程、授業料等負担軽減奨学費支給規程、セクシャル・ハラスメントの防止等に関する規程</p>
<p>B 学長のリーダーシップ</p>	
<p>学長の個人調書</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教員個人調書[書式1]（平成29年5月1日現在） ■ 専任教員として授業を担当している場合、「専任教員の個人調書」と同じく、過去5年間（平成24年度～平成28年度）の教育研究業績書[書式2] 	<p>56 学長の履歴書 57 教育研究業績書[平成24年度～平成28年度]</p>
<p>教授会議事録</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度） 	<p>58 教授会議事録[平成26年度～平成28年度]</p>
<p>委員会等の議事録</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度） 	<p>59 教授会資料[平成26年度～平成28年度]</p>
<p>報告書作成マニュアル指定以外の備付資料</p>	<p>7 教授会規程（諸規程） 7 大学改革推進センター規程（諸規程） 7 研究行動規範（諸規程） 7 公的研究費不正防止規程（諸規程） 7 FD・SD推進委員会規程（諸規程）</p>

C ガバナンス	
監事の監査状況 ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	55 羽陽学園理事会議事録 [平成26年度～平成28年度]
評議員会議事録 ■ 過去3年間（平成26年度～平成28年度）	60 羽陽学園評議員会議事録 [平成26年度～平成28年度]
報告書作成マニュアル指定以外の備付資料	61 ホームページ 学校法人羽陽学園財務情報 http://www.uyo.ac.jp/jyou_koukai/zaimu.html 19 羽陽学園短期大学広報誌UYO
選択的評価基準	
地域貢献の取り組みについて	62 基準 (1) 平成26年・平成28年「公開講座」テキスト・平成27年開学50周年記念誌 平成26年～平成28年「保育実践研究Ⅲ」報告書 平成26年～平成28年研究報告書（小国高校「地域文化研究報告書」） 63 基準 (2) 平成26年～平成28年「障害児保育研究センター」活動報告書 平成26年～平成28年「幼児教育研究会」報告書 平成26年～平成28年地域貢献活動の活動内容 64 基準 (3) 平成26年～平成28年活動内容・写真等